

人々の多様なつながりにエールを送り、いきいきと輝く地域をつくる

久慈市長内市民センター



わいわい体験塾「内間木洞探検」



ちょこっとボランティア

公民館の沿革・年表

- ・平成8年4月 久慈市勤労者家庭支援施設開設 (久慈市立長内公民館)
- ・平成29年4月 勤労者家庭支援施設廃止 久慈市長内市民センター開設
- ・令和元年10月 台風19号により、避難所開設 ボランティア活動の拠点となった。

左図・写真の説明等など (PRポイントなども可)

- ・令和2年7月開催「わいわい体験塾内間木洞探検」。小学生を対象に洞窟の中を探検、鍾乳洞等について学習した。郷土資源理解につながる、貴重な体験となった。
- ・地域づくり事業「ちょこっとボランティア事業」  
令和2年9月に運動会直前に長内小学校の校庭の草取りを実施。市民センター利用団体やふれあいサロン、町内会等の団体等が連携した。学校への協力の他、住民交流の場となった。

1. 都道府県名	岩手県	3. 公民館対象人口	4838人	5. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
2. 市区町村名	久慈市	4. 建物設置年月日	平成8年4月1日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	0台
7. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 ( <input type="radio"/> 地区まちづくり協議会 ) <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 久慈市 )				
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 2989人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 12782人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 <input type="checkbox"/> その他 0人 ( )				合計 15,771人
9. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 3人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input type="checkbox"/> 非常勤 0人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 ( 職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 0人 ) 合計 3人				
10. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
11. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ( 市民センター運営協議会 )				
12. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 世代間交流 )				
13. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 ( <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター ) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 ( 市街地に近いことから、サークルなど地区住民以外の利用も多い。 )				
14. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 長内保育園、いなり保育園、長内小学校、長内中学校、NPO法人ヤマセデザイン会議、長内生き活き振興協議会、学童保育所わんぱくクラブ、長内地区各町内会、長内地区老人クラブ連合 )				

久慈市長内市民センター

OPEN 9:00~22:00 H P <https://www.city.kuji.iwate.jp/>  
 TEL 0194-52-7400 SNS [https://twitter.com/osanai\\_simin](https://twitter.com/osanai_simin)





## 1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

長内地区は市内他地区に比較し市街地が近く、漁村集落から、病院・大型スーパー等がある地区まで13町内会がある。アパートが多い地区もあり、各町内会では、若い世代の参加・町内役員の交代、地域コミュニティの希薄化が課題となっている。また、津波や台風の被害があり、防災へ取り組みも課題となっており、町内会の課題共有に取り組んだ。

また、少子高齢化も進んでおり、将来地域を担う子供たちに、故郷を好きと思ってもらえるような体験や伝統芸能の継承・世代間交流に取り組んだ。2年度はコロナもあり、市や地域の事業が多数中止になったことから、住民の心身の健康に重点を置き取り組んだ。

## 2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

### 【わいわい体験塾】

小学生を対象に、自然や世代間交流など様々な体験活動を実施。2年度は内間木洞探検、坐禅体験、小正月行事を実施した。学童保育所と連携し参加を募り、多くの児童が参加。**故郷の地域資源や世代間交流、郷土文化の理解につながった。**例年は流しそめん等も実施している。

### 【盆踊り太鼓教室】

長内活き活き振興協議会で保有している太鼓を活用した地域団体と連携した事業。小学生も参加し世代間の交流や伝統芸能の継承へ取り組んだ。2年度はコロナのため活動の場がなかったが、元年度は、**地域の太鼓サークルと連携、盆踊り大会や敬老会に参加した。**今後は「盆踊り唄」について取り組み、継承に努めていきたい。



盆踊り太鼓教室

### 【ちょこっとボランティア】

地域の困りごとに協力する事業として、長内小学校の校庭草とりを年1回実施。3回目となった令和2年度は、**利用サークルや近隣の町内会・サロンと連携した。**長内小学校及び長内地区教育振興協議会と連携した事業。

### 【町内会交流会】

町内会長の交流会を開催し**町内会の課題・悩み事などの情報交換を実施した。**



町内会交流会

## 3. 取組による成果や効果

### 【各活動による成果・効果（ちょこっとボランティア事業）（町内会交流会）】

・ちょこっとボランティアでは、参加者が増えず同じメンバーだったが、地域団体との連携することにより、今まで参加してくれた方々の活力にもなり、また住民交流にもなった。

・町内会交流会では、地域の連携のきっかけづくりとして実施。情報交換ができたので、今後は事務局担当者の交流や自主防災会の交流会を開催し、防災など長内地区の課題に取り組むたい。

### 【これまでの取り組み全体による成果・効果】

・センター事業での「百歳体操」をきっかけにした、男性のみの「長内おとこの会」があり、代表者が地域や事業等で積極的に声掛けをして会員を徐々に増やし、センター事業の男性参加率もあがっている。また、老人クラブ等地域での交流活動にもつながっている。



百歳体操「長内おとこの会」

## 4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

・市民センター運営協議会（年間2～3回開催）において、各市民センターの戦略・運営方針・事業計画、実施状況等について協議し、地域の課題が運営に反映されているかどうか評価・検証し、必要に応じて改善に取り組むこととしている。

・また、事業実施後にアンケートを取る場合もあり参考にしているが、直接参加者と対話して具体的な感想や提言を取り入れるようにしている。また、事業はできる限り職員全員で参加、実施後反省や次回に向けての改善点を検討している。

## 5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

・人と人をつなぐ交流の場としての役割を意識し、**地域の潤滑油であるべく、地域団体等と連携して情報交換・共有に努める。**

・住民一人一人が尊厳をもって人生を送っていることを忘れず、対話に努める。

・**将来地域を担う子供たちについて、地域で育てていく。**



餅つきとみずぎ団子づくり

## 6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

小中学生を巻き込むような事業の展開。小学生には将来思い出に残るような体験や企業見学など、地域と連携した事業を実施したい。大人自身が地元をもっと好きになることも大切であり、地元魅力再発見事業として地域に密着した活動を取り入れていく。ボランティア活動は難しいものがあるが、地域住民の連携が根付くような活動を少しずつ継続していきたい。



小屋畑川源流を訪ねて